

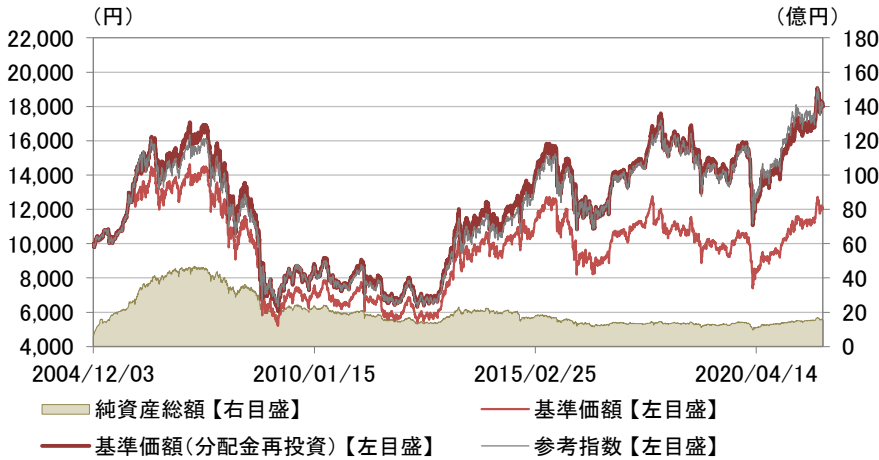
三菱UFJ SRIファンド
 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

月次レポート

2021年
 10月29日現在

追加型投信/国内/株式

■ 基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.0%	7.7%	8.1%	30.9%	18.1%	79.9%
参考指数	-1.4%	5.3%	5.4%	26.7%	21.6%	80.2%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 組入上位10業種

業種	比率
1 電気機器	17.4%
2 情報・通信業	9.2%
3 サービス業	8.5%
4 機械	6.6%
5 精密機器	6.3%
6 その他製品	5.9%
7 輸送用機器	5.8%
8 化学	5.8%
9 医薬品	5.7%
10 銀行業	5.7%

■ 組入上位10銘柄

		組入銘柄数: 63銘柄	
銘柄	業種	比率	参考指数 構成比
1 SCREENホールディングス	電気機器	2.2%	0.1%
2 川崎汽船	海運業	2.1%	0.1%
3 アサヒグループホールディングス	食料品	2.0%	0.4%
4 東京エレクトロン	電気機器	2.0%	1.2%
5 小松製作所	機械	2.0%	0.5%
6 オムロン	電気機器	2.0%	0.3%
7 参天製薬	医薬品	2.0%	0.1%
8 任天堂	その他製品	2.0%	1.0%
9 博報堂DYホールディングス	サービス業	2.0%	0.1%
10 三菱商事	卸売業	2.0%	1.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・業種は、東証33業種で分類しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	12,003円
前月末比	-248円
純資産総額	15.41億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第16期	2020/11/20	0円
第15期	2019/11/20	250円
第14期	2018/11/20	0円
第13期	2017/11/20	1,200円
第12期	2016/11/21	0円
第11期	2015/11/20	700円
設定来累計		4,850円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■ 資産構成

	比率
実質国内株式	97.2%
内 現物	97.2%
内 先物	0.0%
コールローン他	2.8%

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

月次レポート

2021年
10月29日現在

追加型投信／国内／株式

■ファミリー・フレンドリー格付別組入比率

	比率
ファミリー・フレンドリー評価上位企業	87.2%
その他	10.0%

・ファミリー・フレンドリー評価上位企業とは全調査対象企業のうちファミリー・フレンドリー評価の観点から上位1/3以上に位置する企業です。

■オーバーウェイト比率上位30銘柄

銘柄	オーバーウェイト比率
1 SCREENホールディングス	2.2%
2 川崎汽船	2.0%
3 オカムラ	1.9%
4 H. U. グループホールディングス	1.9%
5 ダイセル	1.9%
6 博報堂DYホールディングス	1.9%
7 SCSK	1.9%
8 参天製薬	1.9%
9 テクノプロ・ホールディングス	1.9%
10 エン・ジャパン	1.8%
11 カシオ計算機	1.8%
12 アイシン	1.8%
13 コスモエネルギーホールディングス	1.8%
14 ヤマハ	1.8%
15 鹿島建設	1.8%
16 三井化学	1.8%
17 東レ	1.8%
18 ディスコ	1.8%
19 アンリツ	1.7%
20 NECネットエスアイ	1.7%
21 島津製作所	1.7%
22 オムロン	1.7%
23 三井住友トラスト・ホールディングス	1.6%
24 日本製鉄	1.6%
25 トレンドマイクロ	1.6%
26 アサヒグループホールディングス	1.6%
27 小松製作所	1.5%
28 オリンパス	1.4%
29 富士フイルムホールディングス	1.4%
30 キヤノン	1.3%

・オーバーウェイト比率とは実際の組入比率がTOPIXの時価構成比を上回っている割合です。
・当ファンドはファミリー・フレンドリー評価が高く、かつ割安な株価水準にある銘柄を中心にTOPIXに対してオーバーウェイトとしていますが、TOPIX構成銘柄に採用されていない銘柄を組み入れる場合があります。

■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

「ファミリー・フレンドリー企業」としての評価が高く、かつ独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素については参考指数(TOPIX)と過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

10月のパフォーマンスはSCREENホールディングス、テクノプロ・ホールディングス、小松製作所等がプラス寄与したものの、カシオ計算機、NECネットエスアイ、三井化学等がマイナスに影響したことにより、ファンド全体では参考指数を下回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでのファミリー・フレンドリー評価に変更があった場合、あるいは業績予想、株価水準等が大きく変化し割安度が低下した際には、ファンドコンセプトを維持するために銘柄入替を実施いたします。(運用担当者:野嶋)

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド
〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

月次レポート

 2021年
 10月29日現在

追加型投信／国内／株式

ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。

グッドバンカー社便り～グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■SRI業界コメント
女子大生から見た企業のESG

グッドバンカー社では、毎年、ある女子大学のカリキュラムの一環として行う学生のインターンを受け入れています。実際に企業のESGへの取り組みを調べてもらうことで、ESGの重要性や意義を学んでもらっていますが、インターンの学生にとっては、将来の就職活動を見据えた企業選びの参考にもなっているようです。

昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大から、実際に学生たちにオフィスで作業してもらうことはできませんでしたが、今年は学生たちが独自に行った業界・企業調査を、オンラインで発表してもらいました。各4名程度の4グループが、それぞれ関心のある業界・企業について、なぜその企業を調べようと思ったのか、その業界・企業がどのようなESGへの取り組みをしているのか、今回の調査によって何がわかったのかを発表します。

普段利用している衣料品店の商品タグに「オーガニックコットン使用」と書かれていたことが魅力的に感じた、実際に利用したときのサービスがよかった、日常的によく利用する店舗の取り組みが気になった、自分たちができることはないかと考えた…等々、きっかけは日常の些細な体験でした。ESGに特に強い関心があったわけではない学生たちですが、身近な体験をきっかけとして、その企業の取り組みをホームページや報道記事などから調べ、深く知ることで、新しい発見や気づきにつながっていたことが印象的でした。例えば、今回の調査を機に企業の環境配慮への取り組みに関心を持つようになった、ESG問題は他人事ではないと感じた、意識することで私生活の中でESG活動に参加することができることがわかった、などの感想を述べていました。また、調査の対象企業を選んだ理由として、「取り組みが詳しく書かれていて興味深かった」という声がある一方、「自分たちの気づかないところで、企業がこんな取り組みをしていたことを初めて知った」といった声もありました。これらの学生の発表からも、企業がESGに配慮した商品・サービスを提供すること、またその情報発信をすることは、非常に好意的に受けとめられており、さらにはESGへの関心を高めることにもなることがわかり、改めてその重要性を再認識しました。

さらに、コロナ禍の影響もしっかり調べており、今後どのように立て直していけばよいのか、彼女たちなりの考えも述べるなど、頼もしく思いました。

最後に、グッドバンカー社からの質問および講評を行い、企業を調べる際の視点などもアドバイスしました。このような機会を通して若い学生たちがESGへの関心を高めることで、社会全体の意識が変わっていく一助になることを期待しています。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント
博報堂DYホールディングス(サービス業、2433)
① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

「生活者一人ひとりが、自分らしく、いきいきと生きていける社会の実現」をグループのサステナビリティゴールとし、多様な人材が活躍し、社員一人ひとりがクリエイティビティを最大限発揮するための環境を整備することで、その実現をめざしています。博報堂と博報堂DYメディアパートナーズでは、2019年4月から、「時間意識を変えるための2つのルールと2つのマナー施策」を実施し、月1回の有休取得やインターバル勤務の促進などに取り組んでいます。さらに、2021年4月には就業規則を改定し、テレワークを含めた新しい働き方(ベストプレイス)を推進。在宅勤務のほか、サテライトオフィスやシェアオフィス、得意先企業などでの勤務、モバイルワークなど、時間と場所を個々で判断し、個人とチームのパフォーマンスの最大化を図っています。また、ウェブ会議やITシステムの効果的な使い方を、全社向け社内ポータルサイトで情報開示しています。

2018年4月、ダイバーシティ推進の一環として、博報堂を含めた3社共同で事業所内保育所を開園。今年9月には、全社で「ダイバーシティ&インクルージョン調査」を実施し、その結果を踏まえてより効果的な社内施策を検討しています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

同社は、「生活者発想」を原点として価値創造をめざしていますが、同社の人事施策によって、社員自身が「生活者」としての時間を持つよう、新しい働き方を推進している点を評価します。生活者としての視点を持つことで、より多様化した社会におけるニーズをつかむことができます。また、テレワーク下でのチームワーク推進活動を進めており、個人でも、またチームでもパフォーマンスを出せる働き方を模索している点も、多様な働き方と生産性の向上の両立をめざす上で重要な取り組みです。さらに、会社が新しい勤怠システムを導入し、就業規則を改定するなど抜本的な改修を行うことで、社員の働き方に対する意識も変わってきたそうです。実質的な勤務時間の削減や、男性の積極的な育児休業取得にもつながっています。

同社は、社員が提供するクリエイティビティこそが企業価値であり、まさに「人が資産」の会社です。同社の人的資産の価値を高める両立支援やキャリア開発等、次なる人材戦略をいかに展開していくのか、今後のファミリー・フレンドリー施策に期待します。

グッドバンカー社便り～グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

シスメックス(電気機器、6869)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

多様な人材がグローバルで一体感を持ち、安心して能力が発揮できる企業文化の醸成をめざし、働きやすい職場環境の整備や計画的な能力開発、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に注力しています。2020年4月に「グローバルHRポリシー」を策定し、ジョブ型の人事制度を導入しました。上司と部下の1on1を軸とした目標管理型の評価制度と、それに基づくスキルベースの人材育成計画を展開するなど、グローバルグループで統一した人材マネジメントの実現をめざしています。働きやすい環境の整備では、不妊治療やつわりに対する休暇制度や一時利用にも対応する社内託児所などの多様な両立支援制度を男女問わず利用できるよう備えています。また、2021年6月からフレックスタイム制度を発展し、働く時間と、働く場所・働き方が選べる「スマートワーク制度」を新たに導入しました。これら制度の整備やアンコンシャスバイアス教育、キャリア研修等を進めてきた結果、2023年度の女性マネジメント比率17%の目標に対し、2020年度は16.2%まで高まっています。また、2021年3月より定年を65歳に引き上げ、50歳以上の社員における副業・兼業、さらにシニア嘱託として最高70歳までの就労を可能にするとともに、「キャリア開発サポートプログラム」も開始しました。

② グッドバンカー社の評価ポイント

長期雇用を前提に多様な人材の能力開発・育成を計画的かつ継続的に支援している点、さらに、海外グループ会社での施策の横展開や、エンゲージメントサーベイ(満足度調査)の結果を活用して必要な施策をアップデートしている点を高く評価します。その一つであるジョブ型の人事制度では、10月に新たに、本人と上司の合意に基づく配置を前提とした仕組みを導入し、ライフステージに応じて仕事を選択できるようにするなど、男女ともに仕事と家庭のバランスがとれる環境の整備を進めています。また、「スマートワーク制度」は5時から22時まで就業可能とし、早朝勤務や中抜けなど休暇取得以外の選択肢が増えたことで、心身に余裕ができた、などの声が聞かれています。今後はこれら制度の定着とともに、サステナビリティ目標に設定した男性育児休業取得率などの実績にも、着実に近づけていけるか注目します。ニューノーマル時代を見据えた人材育成では、オンラインプログラムの充実化や勤務時間内の1日15分の自己学習を推奨するなど、独自のキャリア形成支援策も強化しています。多様な社員が生産性を高めることで世界の医療課題解決に貢献し、同社が企業競争力をさらに高めていくことを期待します。

■ファミリー・フレンドリー評価ポイント

アイシン(輸送用機器、7259)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

従業員一人ひとりが主体的・自律的に働きがいを持ち、プロフェッショナルとして能力や個性を発揮することで、新たな価値創造につながる職場づくりをめざしています。

2019年度より働きがい改革として、組織の「ありたい姿」に向けたチームビルディング活動「ATBA」によって、コミュニケーション活性化や社内手続きの簡略化など仕事のやり方変革を推進。働きがい改革で生まれた時間を有効活用してもらうため、語学や専門分野などを磨く「自己啓発補助」等の施策も整えています。また、テレワークやサテライトオフィスなども導入して柔軟な働き方を促進し、育児支援では、2020年から「男性社員の育児休業取得率100%」の目標を掲げ、出産後1年間で最低5日の育児休業の取得を推奨しています。セミナーでの意識醸成を図り、2020年4～9月に子供が出生した男性社員619名は全員取得し、その後も100%を継続。女性活躍では、「女性管理職を2020年までに14年の3倍(66人)にする」という目標に対し、2020年実績が69人と達成。新たな目標を「2030年度に女性管理職比率6.0%」(2020年実績3.3%)と設定し、メンター制度の導入や女性社員の交流会、管理職研修「イクボス塾」などで社内の風土醸成も進めています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

柔軟な勤務制度の整備にとどまらず、従業員の意欲向上を促すような取り組みを行い、人材の多様性を高めることと合わせて、イノベーションにつなげようとしている点を高く評価します。

業務効率化を進める話し合いの中で、上司や同僚とのコミュニケーションの質が向上したとの声や、育休を取得した男性社員からの「育児と仕事のポイントの類似性を今後の業務に生かしたい」との意見のように、取り組みの副次的な効果も生まれています。一方で、肌の保湿サポートやバリアー機能改善の商品やサービスに利用できる微細な水粒子「AIR(アイル)」放出の技術開発(2021年4月発表)に、多くの女性従業員が関わったことは、多様な視点が事業に直接活かされた好事例と評価されます。自動車業界が電動化や自動運転などの技術で大変革期を迎える中、2021年4月にアイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュが統合し、新生「アイシン」が誕生しました。業務でのシナジー効果に加え、「働きがい改革」やダイバーシティ推進もグループ内に浸透させることで、企業競争力をさらに引き上げていくことを期待します。

・グッドバンカー社からのコメントは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、三菱UFJ国際投信の個々のファンドに影響を与えるものではなく、投資勧誘・販売を目的とするものではありません。
 ・業界コメント等については、グッドバンカー社が信頼できると判断した情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。

■本資料で使用している指数について

・TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、「ファミリー・フレンドリー企業」として高く評価され、かつ株価が本来あるべき価格（理論株価）に対して割安と判断される銘柄に投資を行うことにより、長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・ファンドにおいて「ファミリー・フレンドリー企業」とは「仕事と生活を両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できる企業」をいいます。ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。
- ・個別銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行と同社グループの投資理論研究機関「MTEC」（三菱UFJトラスト投資工学研究所）が共同開発した「理論株価モデル」を活用します。
- ・SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) とは、財務的な観点からだけでなく、特に社会的存在として企業のあり方を評価して投資する運用手法です。
- ・ファンドはSRIの一分野である「ファミリー・フレンドリー」をテーマとしたファンドです。

■ファンドの仕組み

・運用は主に三菱UFJ SRIマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

- ・年1回の決算時(11月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ SRIファンド (愛称:ファミリー・フレンドリー)

追加型投信/国内/株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2004年12月3日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.65%(税抜 年率1.5%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:三菱UFJ SRIファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○